

令和5年度 須坂市立小山小学校 グランドデザイン

学校教育目標

「柵の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉豊かな人」

一須坂市教育大綱(基本方針)一

- 1 多様性を認め合い、誰もが活躍できるまち
- 2 子どもの個性と力のびのび育つまち
- 3 一人ひとりが学び、高め合うまち

【目指す学校】

- ・夢やあこがれのもてる学校
- ・よさや可能性を引き出す学校
- ・笑顔とやさしさあふれる学校

令和4年度学校評価より

- ◇主体的・能動的な学校生活
- ◇自ら問いをもつ授業づくり
- ◇支え合える人間関係づくり
- ◇失敗や間違いから学べる環境づくり

【目指す子ども】

よく考え よくあろうとする子ども ～体験が経験に、経験を知恵に～

よく考える子ども
【学び合い】

人やものを大切にする子ども
【響き合い】

心も体もたくましい子ども
【鍛え合い】

目指す子どもの姿を実現するための3つの柱

1 授業力の向上 (学力向上)

- ①探求的な学びの推進
 - ②分からない子どもを一人ぼっちにしない授業展開の工夫
 - ③個別最適な学びと協働的な学びの一体化
- 「授業では、自らの課題を設定し、自分で考える」児童 80%を目指す(学校評価)

2 学級経営の充実 (人間力向上)

- ①多様性を包み込む学びの環境づくり
 - ②「聴き合う関係」づくり
 - ③「折り合いをつける力」の育成
 - ④特別支援教育の充実
- 「学校が楽しい」児童 90%を目指す(学校評価)

3 自律と心身の健やかな成長 (豊かな心・体力向上)

- ①失敗を恐れず挑戦できる環境づくり
 - ②「基本的な生活習慣」づくりと体力向上
 - ③「自分の命は自分で守る」危機管理能力の向上
- 「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦できる」児童 80%を目指す(学校評価)

子どもたちが深く根を張る学校づくり(本年度の重点)

重点1

「考えることを楽しむ授業」づくり

1 体験を通して体全体で考える探求的な学習

- ・英語学習の充実(高校生や海外の小学校との交流)
- ・臥竜公園をフィールドとした本校ならではの学習

2 問いのある授業

- ・「なぜ、どうして」の問いから始まる授業の立ち上がり(全ての子どもを同じ土俵にのせる)
- ・立ち止まりから始まる学び合い
- ・振り返りの充実「できた・わかった・使えた」
- ・コの字型、グループ学習

3 つまづきに応じた学習支援

- ・その子に合った方法を一緒に見つける支援

重点2

「多様性を包み込む学びの環境」づくり

1 聴き合う関係づくり

- ・怒鳴らない指導
- ・「あいさつ・返事」で結ばれ深まる人間関係
- ・「さんづけ呼称」で 広がる受容の輪

2 特別支援教育の充実とチーム支援

- ・特性を生かした出番や居場所づくり
- ・特別な支援や配慮を必要とする児童理解

3 折り合いをつける力の育成

- ・共通の目的を探しだす、妥協点を見出す、粘り強い対話力の育成

重点3

「失敗を恐れず挑戦できる環境」づくり

1 失敗や間違いから学べる環境づくり

- 失敗を経験とし、良質な成功体験につなげる環境づくり
- ・レジリエンス(「落ち込まない」「心が折れない」という強さではなく、その状態から再起する力)の育成
- ・児童会の時間、遊びの時間の充実と確保
- ・150周年記念行事を含めた学校行事での学び

2 望ましい生活習慣の育成

- ・家庭、園小の連携

3 体力向上プラン

- ・体カテストに基づいた体力向上策の実践

子どもたちが深く根を張る環境づくり(研修・家庭・地域との連携)

子どものための専門家集団を目指す職員の研究と研修

- 研究:教育課程研究協議会(外国語・英語)、日々の授業公開、市ICT教育活用推進事業
- 研修:校内研修(授業づくり、ICT活用、児童理解と支援、全国学力調査、総合学力調査、Q-U検査等の分析研修)

家庭、地域との連携

- 【学校評価】【安全支援】【学習支援】【生涯学習支援】
- 【家庭学習の充実】【情報モラルの向上】
- 柵の木運営委員会(コミュニティスクール)
- PTA 活動、地域ボランティア、支援会議



Since 1873